

様式 1)

ながのまちづくり活動公開審査申込書

申込年月日	平成 25 年 2 月 4 日	受付番号	13
活動部門・コース	1 企画・研究部門	2 実践活動部門	① ホップコース(スタート枠) ② ホップコース ③ ステップコース ④ ジャンプコース
団体の名称	(フリガナ)カワナカジマジンクオンドホゾンカイ		
	川中島甚句・音頭保存会		
団体の所在地			
代表者	(フリガナ) ハヤシベ イサオ		
	氏名 林部 勇雄		
連絡先 (連絡責任者)			
団体の設立年月日	平成 24 年 1 1 月 3 0 日 (金)		
団体の 設立目的	川中島地域にある甚句や音頭を調査研究し、資料編纂する保存活動と、それらを地域に普及拡大をすることで、地域づくりをし、次世代に地域文化として引き継いでいくことを目的とする。		
団体の 活動実績	準備会議 11/30 12/17 1/22 1/30 (川中島地区自治協、区長会代表に参加してもらい活動の 主旨説明) 平成 25 年度より本格活動に入る		
構成員 (会員) 数	10 人		
応募する 活動のタイトル	川中島地域に伝わる甚句や音頭の調査研究、普及拡大		

<p>応募する活動の 目的及び達成目標</p>	<p>現在の地域や社会の問題・課題と応募する活動の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化、家族構成の変化などで、地域伝承文化の継承者や後継者が少なくなり、川中島地域に伝わる甚句や音頭の存在も薄れていき、このままでは貴重な文化が歴史から消えてしまうのではないかと、この危機感がある。そこで、この地域の甚句や音頭を掘り起こし、調査研究をして資料編纂することで伝承文化を保存し、次世代へ引き継ぐ。そして、それらの甚句、音頭の普及拡大活動を通して、地域に新たなつながりを生み出すまちづくりを目的とする。 <p>応募年度の達成目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 川中島地域に伝わる甚句、音頭の調査研究を通して、地区の高齢者や知識人とつながりをつくり、まちづくりに参加してもらう。 2. 「川中島音頭」に関する調査をし、冊子、DVD 作成により、文字と映像で保存する。 3. 「川中島音頭」講習会を開催し、地域に普及する。
<p>応募する活動の 具体的内容</p>	<p>※実施項目、場所、対象者など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地区の高齢者や知識人を対象に、川中島地域に伝わる甚句、音頭の掘り起こしのため、直接聞き取り調査をする。そこでつながりをつくり、保存活動に参加をすることで、まちづくりにかかわってもらう。 2. 「川中島音頭」に関する調査、資料整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史、譜面、歌詞、歌唱、振付などをまとめ、メイキングを含めた冊子（300冊）、DVD（100枚）を作成する。 ・ 作成した冊子、DVDは、地域公民館、学校関係、福祉関連施設などには無料配布、一般希望者には協力費100円で配布し、保存伝承に役立てる。 3. 「川中島音頭」の講習会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 川中島地区住自協、区長会、地域公民館の協力のもと、幅広い年代層を対象とした講習会を中地区（中津、御厨、川中島）ごとに開催する。その際、連帯感を強めるため、名入りの豆絞り（100枚）を使用する。 ・ 保育園、幼稚園等に、「川中島音頭」を園内校内行事に取り入れてもらえるよう依頼する。 ・ 地区公民館の行事に「川中島音頭」を踊る時間を設けてもらうよう働き掛ける。

年 間 計 画	4月	○川中島地域に伝わる甚句・音頭の調査
	5月	—○正統「川中島音頭」の譜面、歌詞、振付の資料整備
	6月	○「川中島音頭」講習会開催（中津地域）
	7月	○「川中島音頭」講習会開催（御厨地域）
	8月	○「川中島音頭」講習会開催（川中島地域）
	9月	
	10月	○川中島フェスティバル21で「川中島音頭千人輪踊り」参加 ▼○「川中島音頭」編の冊子、DVD完成
	11月	
	12月	
	1月	○「川中島音頭」以外の甚句、音頭のまとめと今後の計画
	2月	まとめと次年度の計画（ホップコースの申込みにむけて）
	3月	
活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果 ※「公益性」の視点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 甚句、音頭の調査で、地域の高齢者、知識人に直接ふれあい、知恵を学ぶことで、薄れゆく文化の掘り起こしができる。 2. 地域の人も、調査に協力することで、まちづくりに参加している意識が持てる 3. 誰でも参加できる講習会を重ねることで、地域の人たちのつながりができ、世代間交流につながる 4. 幼児期に学ぶことで、子供たちの心にふるさとの行事として記憶に残り、「川中島」に愛着と誇りの気持ちがより強まる 5. 踊りや甚句を歌うことで健康増進、老化防止に役立つ 6. 他地域の甚句、保存会と交流ができ、互いに理解を深めることができる 	
活動を継続するための取り組み（資金面、人材等） ※「自立性」の視点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 活動費は主として会員からの会費とし、今後会員数の増加を計る。（現在10名を今年度40名に増加） 2. この活動は、川中島地区の区長会、住民自治協議会に理解と協力を得ている。このことにより地域へ広く広報することができ、新会員増加、賛助金、協賛金の獲得も見込める。 3. 団塊の世代の会員獲得を進めることで、地域伝承文化を次世代へ引き継ぐ担い手の育成を図る。 	

<p>翌年度以降の活動内容の概要</p>	<p>翌年度</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「川中島音頭」の普及拡大 2. 「川中島音頭」以外の甚句、音頭の調査研究の継続と、資料整備し、冊子、DVDの作成
<p>翌々年度</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「川中島音頭」の普及拡大 2. 「川中島音頭」以外の甚句、音頭の普及 3. 若い世代にアピールするため、音楽をアレンジした「川中島音頭 21バージョン」の検討、作成
<p>事業の最終目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「川中島音頭」の保存継承活動が、公民館事業、住民自治協議会事業に組み込まれることで、後世に引き継がれていき、川中島地域の「音頭でつながるまちづくり」ができる。 2. 新たな「川中島音頭 21バージョン」を地域の最大の行事「川中島フェスティバル 21」のフリーダンスコンテストの課題曲となり、全国に川中島地区と「川中島音頭」をアピールすることで、まちの活性化の一助となる。

必要経費

(単位 円)

科 目	金 額	
謝金・賃金		
旅費交通費	3,000	
消耗品費	73,000	
印刷製本費	40,000	
広告宣伝費		
通信運搬費	8,000	
使用料		
備品購入費		
合 計	^A 124,000 円	

自己資金

名 目	金 額	
会費	20,000	
寄附金・協賛金		
参加者負担金		
事業収益金	4,000	
合 計	^B 24,000 円	

<p>補 助 金 要 望 額 (C)</p>	<p>C = A - B</p>
<p>※補助割合・限度額</p> <p>【企画研究部門】 Aの金額以下、ただし 10 万円以内</p> <p>【実践活動部門】 (スタート枠) A×0.8 の金額以下、ただし 50 万円以内 (ホップ) A×0.8 の金額以下、ただし 100 万円以内 (ステップ) A×0.6 の金額以下、ただし 60 万円以内 (ジャンプ) A×0.4 の金額以下、ただし 40 万円以内</p>	<p>100,000 円 (千円未満切り捨て)</p>